

## 第 70 回北海道吹奏楽コンクール開催要項

- 1 期 日 令和 7 年 8 月 2 8 日 (木) 「高等学校 C」 「高等学校 A」  
8 月 2 9 日 (金) 「中学生 C」 「中学生 B」  
8 月 3 0 日 (土) 「中学生 A」 「高等学校 B」 「大学小編成」  
8 月 3 1 日 (日) 「小学生」 「職場・一般小編成」 「大学」 「職場・一般」
- 2 会 場 札幌コンサートホール Kitara 大ホール  
(札幌市中央区中島公園 1-15 TEL: 011-520-2000)
- 3 主 催 北海道吹奏楽連盟／朝日新聞社
- 4 後 援 (一社) 全日本吹奏楽連盟／北海道／札幌市／北海道教育委員会  
札幌市教育委員会／北海道音楽教育連盟／北海道高等学校文化連盟
- 5 協 賛 (株) ヤマハミュージックジャパン
- 6 審査員 加 藤 智 浩 (東京交響楽団／ホルン) 8/29～31  
木 村 達 志 (東京フィルハーモニー交響楽団／打楽器) 8/28～31 (小、職一小)  
佐 藤 誠 (札幌交響楽団／トランペット)  
照 沼 夢 輝 (日本フィルハーモニー交響楽団／クラリネット)  
栃 尾 克 樹 (東京佼成ウインドオーケストラ／サクソフォン) 8/28～31 (小、職一小)  
八 條 美奈子 (北翔大学／フルート) 8/28、31 (大、職一)  
福 島 弘 和 (作曲家)  
山 下 敦 史 (札幌市教育委員会) 8/31 (大、職一)  
山 下 友 輔 (札幌交響楽団／トロンボーン)
- 7 参加人員及び資格 北海道吹奏楽コンクール実施規定による
- 8 演奏曲目及び演奏時間
  - (1) 中学生・高等学校の A 編成、及び大学、職場・一般の演奏曲目は全日本吹奏楽コンクールに準じ、課題曲と自由曲の 2 曲とし、演奏時間は合計 12 分以内とする。  
なお、課題曲は次の I～IV のうち 1 曲を演奏する。

|                                                              |           |
|--------------------------------------------------------------|-----------|
| I 祝い唄と踊り唄による幻想曲<br>(第 34 回朝日作曲賞受賞作品)                         | 作曲 杉山 義隆  |
| II ステップ、スキップ、ノンストップ (順次進行によるカプリッチョ)<br>(2025 年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品) | 作曲 後藤 洋   |
| III マーチ「メモリーズ・リフレイン」                                         | 作曲 伊藤 士恩  |
| IV Rhapsody ～ Eclipse<br>(2025 年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品)               | 作曲 大島 ミチル |
  - (2) 中学生、高等学校の A 編成、及び大学、職場・一般以外は自由曲のみとする。また、上記以外の演奏時間は、中学生・高等学校の B 編成、及び大学、職場・一般の小編成は 7 分以内、小学生、中学生・高等学校の C 編成は 6 分以内とする。
- 9 審査方法 北海道吹奏楽コンクール実施規定及び審査内規による。
- 10 出 場
  - (1) 出場団体は各地区吹奏楽連盟に出場申込書を提出し、各地区で予選を行って推薦された団体とする。
  - (2) 地区推薦団体数は北海道吹奏楽コンクール実施規定による。
  - (3) 各出場団体は、北海道吹奏楽連盟の本年度連盟会費を納入し、本大会の参加料を納付するものとする。

## 1 1 入 賞

- (1) 全参加団体には審査結果を基に、金・銀・銅の各賞を与える。
- (2) 中学生、高等学校のA編成及び、大学、職場・一般の中から最優秀団体を全日本吹奏楽コンクールへ北海道代表として推薦する。  
\*「中学生」2団体、「高等学校」2団体、「大学」1団体、「職場・一般」2団体
- (3) 小学生、中学生C・B編成、高等学校C・B編成の中から最優秀団体を東日本学校吹奏楽大会に北海道代表として推薦する。  
\*「小学生」2団体、「中C」3団体、「中B」2団体、「高C」2団体、「高B」1団体
- (4) 各地区予選参加団体には賞状を授与する。

## 1 2 参加料

【小学生】17,000 円      【中学生】A編成 25,000 円、B編成 21,000 円、C編成 17,000 円  
【高等学校】A編成 28,000 円、B編成 23,000 円、C編成 18,000 円  
【大学】【職場・一般】28,000 円      【大学小編成】【職場・一般的小编成】23,000 円

## 1 3 入場券（高Aのみ全席指定とし、前・後半それぞれの販売になります）

- (1) **高Aの一般販売**について  
ア 販売価格《前半券・後半券共（全席指定）》  
    【S席】2,500 円      【A席】2,200 円      【B席】1,900 円  
イ 高Aの一般販売は、**8月13日（水）10:00より、キタラチケットセンターにてインターネットの申込順**で受け付けます。
- (2) **高Aの出場団体優先販売**について  
ア 販売価格《前半券・後半券共（全席指定）》  
    【S席】2,500 円      【A席】2,200 円      【B席】優先販売なし  
イ 自校の出演する前半または後半のみ購入できます。  
ウ 関係者以外への転売を固く禁じます。
- (3) **高A以外の部門の入場券販売**について  
ア 販売価格《前売り・当日共通（全席自由）》  
    【高C】1,700 円      【中C・中B】2,500 円      【中A】2,500 円  
    【高B・大学(小)】1,700 円      【小学生・職一（小）・大学・職一】2,500 円  
イ 客席の入れ替えは、〈1日目〉高Cと高A、〈3日目〉中Aと高B・大学(小)の間で行います。  
ウ 高A以外の前売り入場券は、**7月28日（月）よりキタラチケットセンターにて販売**します。  
    （前売り券の申込みは、全て**インターネットによる申込み**とします）
- (4) その他  
ア **中Aの入場券はすべて自由席（前後半割りもなし）です。出場団体の入場券は高A以外の入場券と同じく参加申込時に必要枚数をお申込みください。**  
イ 各部門、当日券を販売いたします。ただし、**販売状況により販売を行わない場合もございます。**販売状況は本連盟ウェブページにて各開催日の前日までにお知らせします。  
ウ 当日券の販売は**各部門開催当日の9:00より、エントランスホール**の当日券売場で行います。なお、エントランスホールは9:00開場となっております。開場前はメインエントランスの大ホール側の入口前にお並びになってお待ちください。  
エ 入場券の購入方法につきましては、本連盟ウェブページにて詳細をご確認ください。出場団体には参加要項にて詳細をお知らせします。

#### 1.4 ライブ配信について

(1) 視聴券の購入方法等の詳細は本連盟ウェブページにてご案内します。

(2) 視聴券の販売について

ア 販売開始日…**7月28日（月）**

イ 視聴券料金

【1日目】高C=1,200円、高A=2,000円（前後半通し）

【2日目】中C・中B=2,000円（2部門通し）

【3日目】中A=2,000円、高B・大学(小)=1,200円（2部門通し）

【4日目】小学生・職一(小)・大学・職一=2,000円（4部門通し）

#### 1.5 全国大会等

【第73回全日本吹奏楽コンクール】

令和7年10月18日（土）中学生の部

10月19日（日）高等学校の部

〈宇都宮市文化会館〉（栃木県宇都宮市）

10月25日（土）大学の部

10月26日（日）職場・一般の部

〈りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館〉（新潟県新潟市）

【第25回東日本学校吹奏楽大会】〈やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）〉（山形県山形市）

令和7年10月11日（土）中学生部門「前半」「後半」

10月12日（日）小学生部門、高等学校部門

1.6 参加申込 所属する地区吹奏楽連盟の指定する期日までに、地区吹奏楽連盟へ参加申込書を2部提出してください（一部はコピー可）。※参加団体が直接、本連盟に申し込む必要はありません。

#### 1.7 その他

(1) 前売券、出演者用プログラム、貸出打楽器等の申し込みは、メールにて参加団体が直接申し込みます。参加料とその他の申込代金は全て振込みになります。

(2) **高Aの出演者は客席内で鑑賞する場合は、入場券が必要になりますのでご注意ください。**

(3) **リボンで客席に入場する出演者は、客席が込み合ってきた場合、ご退場いただきますので予めご了承ください（特に中A部門が予想されます）。**

(4) 電子楽譜の使用について

ア 「電子楽譜」とは、デジタルデータ化された楽譜を専用の機器や各種タブレットのアプリケーションソフトを用いて使用するものです。

イ 「電子楽譜」の使用は、**全部門・全日程を通じて禁止**といたします。なお、上位大会である**全日本吹奏楽コンクール**においても、同様に**全部門・全日程を通じて禁止**となっております。

ウ 禁止の理由

現時点において、全日本吹奏楽コンクール課題曲の電子版は出版されていないことから、これを認めることは、楽譜の「複写」を本連盟が認めることになります。なお、自由曲においては、出版社によっては電子版等の出版もあることが想定されますが、主催者がそれらをすべて把握することは困難であり、公正・公平なコンクールの実施に支障きたす可能性があります。また、機種によっては録音機能やメトロノーム機能、チューニング機能などを備えた機種もあり、その使用の有無の判断について主催者がすべて把握することは困難であり、公正・公平なコンクールの実施に支障をきたす可能性があるためです。